

長期収載品にかかる選定療養費

令和 6 年度の診療報酬改定に基づき、令和 6 年 10 月から長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）を患者さんの希望で使用する際に、選定療養費として患者さんの自己負担額が発生します。

[選定療養費の対象となる場合]

- ・ 院内処方（入院患者は除く）
- ・ 院外処方

[選定療法費の対象となる医薬品（長期収載品）について]

- ・ 後発医薬品が上市されてから 5 年経過した先発医薬品（※）
 - ・ 後発医薬品への置換率が 50%以上の先発医薬品（※）
 - ・ 注射剤も対象となります。
- （※）…準先発医薬品も含む

[選定療養費の対象から除外されるケース]

- ・ 入院患者さんへの処方
- ・ 医師が医療上の必要性があると判断した場合
- ・ 在庫状況等により先発医薬品の提供が困難な場合
- ・ バイオ薬品

[自己負担額について]

- ・ 長期収載品（先発医薬品）の薬価と、後発医薬品の最高価格帯の差額の 4 分の 1

例）先発医薬品の価格が 1 錠 100 円、後発医薬品の価格が 1 錠 60 円の場合、差額 40 円の 4 分の 1 である 10 円

※選定療養費は、保険給付でないため、消費税が上乗せされます。

※国や地方単独の公費負担医療制度をご利用の場合も、選定療養負担の対象となります。